

# 糖尿病通信

## 感染症に注意が必要な糖尿病治療薬



今月の糖尿病通信は薬剤部が担当させていただきます。世の中は新型コロナウイルスが収束しない状況が続いていますが、これからの季節はインフルエンザにも注意が必要です。手洗いうがいは引き続き徹底していきましょう！

さて、糖尿病の人が感染症になりやすいということは以前の糖尿病通信でもお伝えしましたが、糖尿病治療薬の中にも特に感染症に注意が必要な薬が存在します。以下に示す SGLT2 阻害薬や、インスリンなど注射薬を使用している方は、お薬を使う上での注意点をしっかり理解しておくことが感染症予防に大切です。

### SGLT2 阻害薬

腎近位尿細管から糖の再吸収を阻害することで血中の糖濃度を低下させるお薬です。血中の糖濃度が低下する一方、尿中の糖が増加することにより尿中の細菌が増加する場合があります。これにより尿路感染症や性器感染症の副作用が起こる可能性があります。予防としてはトイレを我慢しない、十分に水分をとる、清潔を心掛けるなどがあります。服用中に排尿痛や外陰部のかゆみがある際は、休薬の必要もあるため医師・薬剤師にご相談ください。



### 注射血糖降下薬

注射血糖降下薬とは、代表的なインスリン製剤の他、ピクトーザやトルリシティなどの GLP-1 受容体作動薬のことをいいます。注射血糖降下薬を用いた自己注射\*で使用した針は、毎回交換する必要があります。針を再利用することで異物の混入や細菌が混入し注射部位の感染症が発症する危険があります。また針先の変形により痛みが増加したり、針の変形により針が折れたり、体内に針が残ってしまう危険性があります。自己注射をおこなっている方は、注射のたびに新しい針を使用するようにしましょう。

\*GLP-1 受容体作動薬であるトルリシティは、薬自体に注射針がセットされており、1 回使い捨てのため針の交換が不要です。



どなたでもご利用いただける病院

# JR 仙台病院

